

社会科部門

●総 評●

今年は、応募数が増えたばかりでなく、内容も優れた作品が多く、レベルが上がっています。

選考では、その学年にふさわしいものや今日的なテーマをかかえているものなども考慮しました。低学年の「生活科」につながる素直だが、自分の生活の向上に結び付く作品、高学年・中学生の環境・福祉問題を取り上げた作品に良いものがありました。

また、現地での聞き取りや、資料の掘り起こしに時間と労力を費やしているもの、そして、夏休みだけでなく2年間に及ぶ継続研究など優れたものが多くありました。

まとめ方も、表やグラフをうまく使い、写真を多用し視覚的に工夫をこらしているものが多く、見やすくなっています。

文部大臣奨励賞受賞作品

田沼意次は真のわいろ

政治家だったのか

静岡県静岡市立安東中学校

3年 若尾 剛志

●**研究の動機** 藤枝市から海水浴で知られる相良まで田沼街道という道路があります。また藤枝市には田沼1丁目～田沼5丁目までの町名があります。(中略)教科書にある悪政政治家田沼意次の名前が現在まで残っているなんて少し変じゃないかな？

●**まとめ** 賄賂政治家と言われているが、本当はなかなかの経済政策の目を持った政治家である。史実とされていることでも、うのみにしてはいけな

●選 評●

悪評高い「田沼意次」像に疑問を持ち、熱心に種々の文献を調べ、幾人かの郷土史家を訪ねたりして検証し、再評価をしています。

研究の進め方、まとめ方が優れているだけでなく、歴史観にまで及んでいるすばらしい研究論文です。

ONE POINT アドバイス

この作品は、日常生活の中から様々な問題を見つけ出し、ニュースの形にすっきりまとめたものです。自分の感想や意見を素直に出しているところが評価できます。しかし、老人問題や環境問題、地域の歴史など踏み込めば深く研究できる課題を表面的に触れているだけなので、物足りなさが残りました。

課題を一つにしぼり、素直な見方・考え方を生かして、自分で資料を集めたり、聞き取り調査をしたりして研究をしたらどうでしょう。

▲「わたしのニュースを発見しよう」
岐阜県柳津町立柳津小学校
6年 安田 直美

〈目 次〉	
I. 序 論	頁
1. 研究動機	1
2. 予想・疑問点	2
3. 研究の方法	3
4. 調査区域	4
II. 本 論	
1. 教科書に見る意次像の違い	5
2. 教科書以外の書籍に見る意次像の違い	20
3. 意次の生立ち	21
4. 意次の経済政策	
① 通貨の一元化	27
② 貿易の振興	28
③ 新田の開拓	29
④ 株仲間公認	30
⑤ 蝦夷地の開発	31
5. 新たな疑問	
① 時代背景	35
② 文献からの調査(架空討論)	37
③ 天災・不運との戦い	44
④ 新たな説	45
⑤ 賄賂の話はなかったか	51
6. 郷土史家の意見	
① 川原崎次郎先生の意見	52
② 柴田等先生の意見	62
7. 田沼街道	
① 地名辞典によると	63
② 田沼街道を求めて	64
③ 地元の人のお話	67
④ 八木太郎さんの案内	69
⑤ 山下二郎さんの話	70
III. 結 論	
1. 予想と比較して	82
2. まとめ	83
3. 今後の課題	88
4. お礼	89
IV. 参考文献	92

